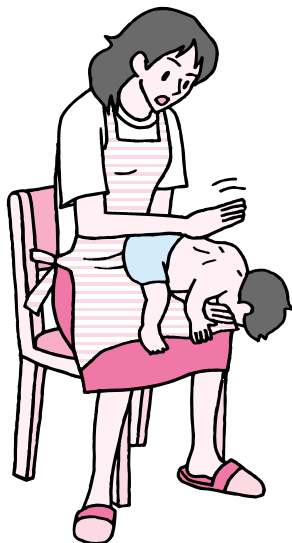


誤飲

- ・無くなっているもの（硬貨、ボタン、クリップ、タバコなど）を確認
- ➔特に鋭利なもの、大きな異物、毒性の強いもの場合は至急119番と応急手当

のどが詰まって窒息状態のとき

- ① 1歳未満の乳児には、はいぶこうだほう背部叩打法を試みる。
- ② 片腕に乳児をうつぶせに乗せ、手のひらで顔を支えつつ頭を体より低くして、もう片方の手のひら基部（手首に近い部分）で背中の中を数回強く叩く。
- ③ 詰まった異物がとれず、乳児の反応がなくなったら、ただちに心肺蘇生（※1～4ページ参照）を開始。心肺蘇生の途中で口の中に異物が見えたら、指で取り除く。



メモ

1歳以上の小児の手当法は、成人と同じ。（※23ページ参照）

毒性のあるものを飲んだとき

- ① 石油、ベンジン、漂白剤、洗剤、殺虫剤、タバコ、化粧品、医薬品など、何を飲んだのか確認。
- ② 初期手当は誤飲した物質によって異なる。最初に119番通報し、飲み込んだ時刻、毒物の種類、量などを知らせ、指示を仰ぐ。



吐かせず119番!!



注意

毒物誤飲時に水や牛乳を飲ませて中和するのは医学的根拠に乏しく、その処置によって毒物吸収が促進されたり、おう吐を誘発して誤嚥する危険性もあるので、一律には推奨されません。